

「Think and act—何する・何得る・2年間のタイムラグ」をテーマに、第9回「薬学生の集い」年会が昨年12月8、9の両日、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、全国から約150人の薬学生が参加して開かれた。今年度のイグ・ノーベル化学賞を受賞した山本麻由さんによる基調講演「私の研究成果から—独創的な発想の養い方」で

スタート。ワークショップ、プロジェクトフェアや6年制と4年制で生じる違いに焦点を当てたパネルディスカッション、スモールグループディスカッションが行われた。4年制と6年制が同じキャンパスに混在する薬学教育の現状に、学生は戸惑いや不安を感じており、真剣な眼差しで講演に耳を傾けたり、討論に参加していた。

6年制と4年制のギャップに焦点

イグ・ノーベル賞の受賞者が講演

“独創的発想”育てる道をアドバイス



講演する山本さん

山本さんが受賞したイグ・ノーベル賞は、

1991年に設立されたノーベル賞のパロディーバージョンで、“人々を笑わせ、考えさせてくれる研究”に与えられる。日本人ではこれまでドクター中松をはじめ、カラオケやタマゴッチの発明者らが受賞している。山本さんは、牛糞からバニラの香料成分であるバニリンを生成した研究が評価された。

講演で山本さんは今回の研究について、①農場

で牛舎の世話をした経験から、牛糞の処理が不可欠と感じた②ポリマーの研究に携わる中で、高温高压処理すれば、ほとんどの物質が分解できると知った——ことから、「高温高压処理という手法を、牛糞処理に応用できるのではないか。その結果として、何か有用な物質が得られるのではないかと、着想した経過を説明。最終的にバニリンなどのポリフェノール類が得られたことを確認し、牛糞の有用なリサイクル方法になると結論づけたという。

山本さんは、自分が興味を持っていること、考えていることについて情報を集めることが、独創的な発想の第一歩であり、それらを結び付ける努力が大事だと指摘。学生に対して、「大学で身に付けたことと、社会で学んだことをコネクトさせ、何かを生み出してほしい」とアドバイスした。

「薬学生の集い」が第9回年会開く

パネルディスカッションは、松谷治（文部科学省医学教育課薬学教育専門官）、生出泉太郎（日本薬剤師会常務理事）、村田正弘（明治薬科大学アドバイザー）、村山純一郎（昭和大学病院薬剤部長）、飯田崇博（武田薬品医薬研修室）、中野芳之（サンドラッグ人事部）——の各氏がパネラーとなり、6年制への移行とその過程における問題点、6年制教育と4年制教育の相違などを討論した。パネルでは、薬剤師に対する社会の期待は想像以上に大きく、それに応える必要性が指摘され、各氏とも異口同音に、医療人としての倫理観を身に付けることの大切さを訴えた。

薬学修業年限の延長が決定するまでの経過を話した松谷氏は、6年制導入について「医薬分業が進展する中で、薬剤師の医療における位置づけが、制度的にも実態的にも拡大してきたこと」が背景にあったとした。

そのため6年制教育では、医療人としての素養を習得させると同時に、実務実習も見学

型から参加型へ転換させることになったと説明。新しいカリキュラムのポイントとして、1～2年次では一般教養の充実、2～4年次では医療薬学の充実、4年修了時にOSCE、CBTによる共用試験を行った上で、5年次から実務実習、5～6年次にアドバンスト実習、卒業研究という姿を提示した。

他のパネラーも6年制に対し、「法案は国会において全会一致で成立をみたもの」「今できてない医療の実現を期待した結果だ」など、6年制は国民が望んだ結果であることが強調された。

6年間で何を学ぶべきかに関しては、▽医療人の倫理観を醸成してほしい▽人との関わり合いを多く持ち、人間としての幅を広げてほしい▽患者の気持ちをどう理解するか、相手を慮る心を持ってほしい▽医師、看護師、

大きい薬剤師に対する社会の期待



6年制と4年制の違いをめぐるパネル討論

企業などが患者に何をしているのか、実習を通じてよく見てほしい——などを求めた。

パネラーを交えてのグループディスカッションでは、参加した学生の多くからコミュニケーションを深めるなど、積極的に活動したいなどの声が挙がった。

重要な「医療人としての倫理観」涵養

ドラッグ業界、調剤報酬額トップクラス

セガミメディクスはドラッグストア及び調剤薬局を327店舗展開する薬局チェーンです。大病院の門前薬局を含む55の調剤薬局を持ち、年間の処方箋応需枚数は140万枚を超え、月間千枚以上処方箋応需店舗数49店は業界1位を記録(2007年)。お客様や患者様の立場に立った丁寧なアドバイスを徹底し「かかりつけ薬局」をめざしています。

薬学生 募集中!

segami

セガミ薬局

ドラッグセガミ

パワードラッグワンス

認定薬剤師

育成・助成制度

導入!

詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.segami.co.jp>

セガミメディクス株式会社
大阪府中央区南船場2-7-30

フリーダイヤル:0120-999-041
E-mail:y-ueno@segami.co.jp